

始 動

始 動

①エンジンスイッチ

- ・エンジンスイッチを始動位置にします。(CLW-351のみ)

②チョーク

- ・寒いときや、エンジンが冷えているときには、チョークレバーを始動の位置にあわせませす。
- ・エンジンが暖まっているときは操作不要です。

③プライミングポンプ

- ・燃料戻しチューブの内側でガソリンが移動するまでプライミングポンプを押します。

④始動グリップ

- ・作業機側の安全な部分をしっかりと押さえ、始動グリップを引き重くなる所をさがし、勢いよく引きます。

※取り扱いのポイント

- ・始動グリップは勢いよく引いてください。始動時のエンジンの回転が速くなると、点火火花が飛びエンジンがかかります。エンジンの回転が遅いとエンジンのかからないことがあります。
- ・始動グリップを引いたままてを放さないでください。始動装置や回りの部品を破損することがあります。
- ・運転中は始動グリップを引かないでください。エンジンに悪影響をあたえます。

⑤チョーク

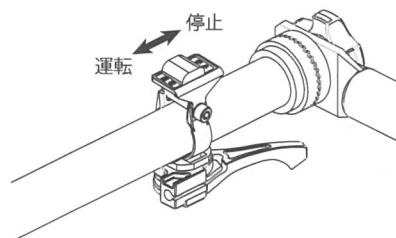
- ・チョークレバーを"始動位置"にしたときは、エンジン回転数が安定することを確認しながら徐々に"運転"の方向に戻します。

⑥暖機運転

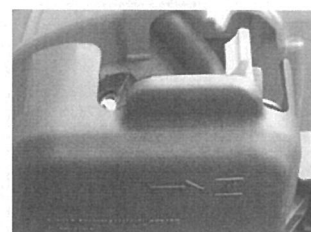
- ・2～3分間暖気運転をしてください。

⑦エンジン回転調整レバー

- ・エンジン回転調整レバーを使用する回転数に調整してください。

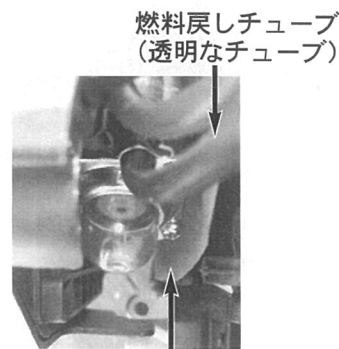


① エンジンスイッチ



始動位置 →

② チョーク



③ プライミングポンプ

⚠警告

- ・排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれています。換気の悪い場所でエンジンを始動しますと一酸化炭素のガスによる中毒のおそれがあります。
- ・トップカバーを外した状態で始動グリップを引いたり、エンジンを始動しないでください。高温部および回転部が露出するので、思わぬ事故の原因となります。

停止

停止

①エンジン回転調整レバー

- ・エンジン回転調整レバーでエンジン回転を最低速にします。

②エンジンスイッチ

- ・CLW-351エンジンスイッチを“STOP”停止位置にします。
- ・CLA-351エンジンスイッチをエンジンが停止するまで押して下さい。

日常点検・整備・長期保管

点検・整備

始動前に必ず点検を行って下さい。

- ①ツメの破損、偏摩耗はないか。

▲注意 ②ツメ取付ボルトやその他ネジのゆるみ、損傷はないか。

- ③各部に油もれはないか。

- ④エアクリーナエレメントは汚れていないか。

- ⑤燃料は充分あるか。

※その他複雑な調整・修理は購入販売店にご相談下さい。

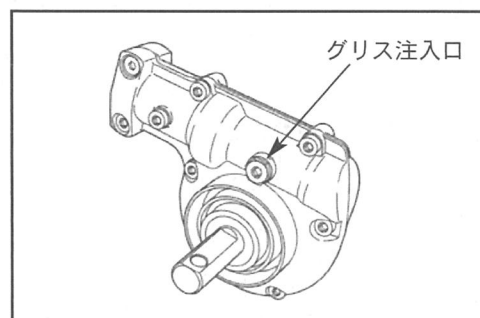
項目	使用時間	毎日	20時間	50時間
ボルト、ナットのゆるみ		○		
燃料もれ		○		
プラグの清掃、調整			○	
エアクリーナエレメントの清掃			○	
ウォームケースのグリス補給			○	
スロットルワイヤーの調整				○

〈注意〉機械の寿命は、手入れの良否によります。上記の表の項目について点検整備を行ってください。時間数は標準的な目安ですので、負荷状態や使用環境によって適宜増減してください。

グリスの注入

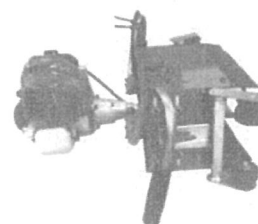
グリスはエッソのリスタンEP2相当のものを20時間毎に補給して下さい。

- ①グリス注入口のボルトを取りはずす。
- ②グリスを注入する。
- ③グリス注入口のボルトを取りつける。



長期保管

- ① 2週間以上使用しない場合は、燃料タンク、キャブレタ内の燃料を全部排出してください。
- ② キャブレタ内の燃料を抜くには、タンクの燃料を抜いた後、エンジンを始動させ低速のままで、自然にエンジンが停止するのを待ちます。
- ③ エアクリーナを清掃すると同時に各部の汚れを取除いてください。
- ④ 点火プラグ取付穴より2サイクルオイルを数滴注入し2～3回コイルスタータを引張り、ピストンヘッドが最もプラグに近い位置でプラグを装着してください。
- ⑤ エンジンヘッドを上にして保管してください。



▲注意 ⑥ エンジンが充分冷えていることを確認してから、直射日光のあたらない、湿気やほこりの少ない場所に保管してください。

取り扱いのポイント

- ・交換後のエンジン オイルはゴミの中や地面、排水溝などに捨てないでください。オイルの処理方法は法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。不明な点はオイルをお買い上げになったお店にご相談のうえ処理してください。
- ・オイル給油キャップは確実に締付けてください。締付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。
- ・オイルは使用しなくても自然に劣化します。定期的に点検、交換を行ってください。